

# 皮膚・排泄ケア認定看護師の活動

皮膚・排泄ケア認定看護師 溝上 知勢子

**認定看護師**は、特定の看護分野において、看護技術及び知識を用いて看護を実践する（**実践**）・看護実践を通して看護職に対し指導を行う（**指導**）・看護職等に対しコンサルテーションを行う（**相談**）の3つの役割を果たすことを目的に、日本看護協会が認定している看護師です。

私の認定分野は「**皮膚・排泄ケア**」で、褥瘡などの**創傷管理**、ストーマ（人工肛門、人工膀胱）や失禁等の**排泄管理**、患者・家族の**自己管理**および**セルフケア支援**を行います。



## 褥瘡管理

院内での主な活動の一つとしては、褥瘡管理があげられます。褥瘡とは、身体の一部が圧迫され続けることで、その部分に十分な血液や栄養

が通わなくなり周辺の組織に壊死が生じることです。

褥瘡治療ケアにおいては、医師、看護師、リハビリのセラピスト、管理栄養士、薬剤師、検査技師等で構成された**褥瘡対策委員会メンバー**を中心に活動しております。私は褥瘡管理者として、褥瘡発生リスク患者の抽出、褥瘡対策診療計画書の作成、体圧分散用具の活用、褥瘡の予防ケア、褥瘡治療（褥瘡回診）ケアを管理しております。

さらに、褥瘡以外の創傷、皮膚が脆弱な高齢者に多い**スキンテア**（皮膚裂傷）、**糖尿病性潰瘍**、**動静脈性潰瘍**などを保有する患者様も多く、日々ケアを行っております。

## 褥瘡対策委員会 メンバー



## ストーマケア

もう一つの活動として、ストーマケアがあります。ストーマ造設前の説明、ストーマ造設術後の管理、ストーマ装具交換のセルフケア支援、日常生活指導を行います。排泄経路の変向に伴う心理的なケアも大切で、当院はストーマ外来にて、退院後のサポートをしております。また女性外来では、尿失禁に対するケアも行っております。

創傷、ストーマ・失禁ケアで共通するのが皮膚です。皮膚を健常な状態に保つためのスキンケアや、治療上予測される皮膚のトラブルを回避するためのスキンケアの実践・指導も重要な役割です。

また、チーム医療推進でさらに役割を発揮するため、「創傷管理関連」の特定行為研修を修了しました。今後の活動に向け準備を進めております

